

令和3年度 多治見市大規模土砂災害合同防災訓練

【日 時】 令和3年7月2日（金）13:30～16:30
【訓練会場】 多治見市産業文化センター（WEB会議併用）
【参加者】 多治見市、多治見土木事務所、東濃県事務所、多治見砂防国道事務所
WEB参加：岐阜県砂防課・防災課、中部地方整備局
約30名

【訓練概要】

平成18年度から管内の6市町村（上松町、大桑村、南木曽町、多治見市、土岐市、中津川市）で順次合同防災訓練を実施し、今年度は多治見市を会場に対面とWEB会議を併用して開催。

関係機関の災害対応の見える化と顔の見える関係づくりを目的に、土砂災害が同時多発するなか、孤立集落や河道閉塞が発生した想定で実施。

訓練は、質疑応答形式と、過去の災害対応事例を交えながら、国・県・市の対応や相互の調整・支援について確認するワークショップ形式で実施した。

過去の災害対応事例



ワークショップで意見交換した項目の発表



H26梨子沢土石流災害
WEBカメラ設置



H26御嶽山噴火災害
ブロック堰堤設置



会場全体の様子



←WEBからの参加



多治見市企画
部長 挨拶



多治見土木事務所
副所長 講評



多治見砂防国道
事務所長 挨拶

講評

○多治見土木事務所 副所長

日頃知ることができない他機関が災害時にどのような対応をしているか理解することができ非常に有意義であった。大規模災害には国・県・市で協力して対応する必要があると再認識した。今回の成果を実際の災害につなげていきたい。

○総合土砂管理官

参加者1人1人が、全体の動き、他の組織の動きを見ながら、自分の取るべき行動を理解し、把握することができた有意義かつ有効な訓練であった。今後の台風シーズンにおいても、組織として備えを、個人としても万が一の事態に備えた心構えをお願いしたい。